



益子町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とされている気候変動の影響により、世界各地において、猛暑や海面の上昇、豪雨などによる甚大な自然災害や生態系への影響が深刻化しており、本町においても農作物への被害や集中豪雨による冠水被害など、私たちの暮らしに影響が生じています。

2015年に合意されたパリ協定では、世界共通の長期目標として、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2度より十分低く保ち1.5度に抑える努力をする」ことが掲げられ、世界的に脱炭素社会に向けた取り組みが活発化しています。

わが国でも、2021年に改訂された「地球温暖化対策計画」において「温室効果ガス排出量を、2030年度に2013年度比で46%削減」という新たな目標を掲げ、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて気候変動対策を着実に推進していくこととしています。

本町におきましても、気候変動が私たち生活に甚大な影響を及ぼすという危機感を町民・事業者・町で共有し、一体となって豊かな自然と環境を未来へ引き継ぐため、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことを宣言いたします。

令和6年3月19日

益子町長

広田茂十郎